

第8回シシ垣サミット

in 愛媛

イノシシ、海を渡り、山を駆ける。

人間とイノシシは、はるか昔より密接な攻防の歴史を紡ぎ出し、現在に至っています。その歴史の遺構である「シシ垣」は何を物語っているのでしょうか。今回は四国における人と獣の関わりを4次元的にとらえることに主眼を置いて探っていきます。

日時:2015年12月19日(土)
研究発表 12:00 ~ 18:00

会場:愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

伊予鉄道市内電車環状線(赤十字病院前)、北へ徒歩3分。
なるべく公共交通機関をご利用ください。

主催:シシ垣ネットワーク
愛媛大学シシ垣サミット実行委員会

共催:西条自然学校・愛媛大学法文学部人文科学科

参加費:無料・資料代500円(予定)

懇親会:会費5000円「セ・トリアン」にて

問い合わせ先:089-927-9127

(愛媛大学埋蔵文化財調査室の柴田まで)

愛南町柏地区のシシ垣

開場・受付 11:30 ~

開会式・趣旨説明 12:00 ~ 12:15

A. シシ垣の保存と活用 12:15 ~ 13:45 休憩 13:45 ~ 14:00

①「ふるさと小豆島の猪鹿垣をたずねて」

②「米原市峠のシシ垣の保存と活用」

③「シシ垣を支えた沖繩村落共同体の特質」

B. イノシシ・野生動物・人間活動の歴史的展開と現状 14:00 ~ 15:30 休憩 15:30 ~ 15:40

④「石鎧山系の獣と人の歴史」

⑤「日本におけるシシ観の変遷—獣・猪・鹿・穴・肉—」

⑥「瀬戸内海のイノシシ」

C. 四国のシシ垣 15:40 ~ 16:40 休憩 16:30 ~ 15:40

⑦「愛南町柏地区におけるシシ垣の展開について」

⑧「高知県の郷土史にみるシシ垣の記述と奈半利のシシ垣」

パネルディスカッション 16:40 ~ 17:40

閉会式・事務連絡 17:40 ~ 18:00

紙上発表

⑨「中泊・外泊におけるシシ垣遺構の魅力について」

奥田政喜(小豆島猪鹿垣を考える会)

高橋順之(米原市教育委員会)

宮城能彦(沖縄大学人文学部)

山本貴仁(西条自然学校)

大本敬久(愛媛県歴史文化博物館)

武山絵美(愛媛大学農学部)

柴田昌晃(愛媛大学埋蔵文化財調査室)

織田浩史(愛南町教育委員会)

松本美香(高知大学農学部)

司会 佐竹 昭(広島大学大学院総合科学研究科)

岡崎直司(近代化遺産活用アドバイザー)

Program